

「アポロニア21」2020年1月号 人件費の要らない「第二スタッフ」の活用
 「専用ソフトで自費補綴の説明をルーティン化」でハノアスが紹介されました。

2020年1月1日発行（毎月1日発行） 通巻313号 1995年9月25日 第三種郵便物承認

アポロニア21

Jan. 2020, No. 313

生きた歯科情報を伝える。医院経営・総合情報誌

特集 人件費の要らない「第二スタッフ」の活用

- 専用ソフトで自費補綴の説明をルーティン化
- 患者さんの不安を一掃するAIツール
- 「勝ち組専門コンサルタント」から見た歯科技工所との付き合い方
- 歯科特有の会計に対応できるキャッシュレス決済

若井広明／高崎宏之／西島彰一／㈱オプテック／㈱ディーアソシエイツ

新連載 ぶっちゃけ銀行事情 ● 佐々木 城歩



レポート 中国三大国際デンタルショーレポート 久保寺 司

自費の説明は ソフトに任せて ルーティン化



「ハノアス」(㈱オールサプライ開発、㈱miracle提供、特許出願中)
 歯科技工所として1987年に創業した中央歯科補綴研究所(東京都目黒区)が運営母体となり、「自分に合った治療を受けたい」という患者さんの要望に応えるために開発した説明用ソフト。「キーボード操作は最小限」「わずか5分で治療計画書を作成」などの特長があり、多くの歯科医院で活用できるよう配慮されている。

- この記事のポイント**
- 患者さんに渡す資料が重要
 - 欠損理由の説明は歯科医師、補綴の選択は「ハノアス」で
 - 自費診療には咬合の理解が不可欠

● 話し手: 若井広明氏
 Wakai Hiroaki
 東京都江東区・
 医療法人社団
 若井歯科医院 院長

● 取材協力: ㈱miracle

● 取材・文: 編集部

